

地域

で取り組む 食品ロス削減

フードバンク「あいあいねっと」

食品ロスの受け入れ

食品メーカーや小売店、近隣の農家の方などから、「食べられるのに捨てられる運命」だった食品を預かります。



農家からは不揃いな野菜をいただきました



料亭で使う「型抜きニンジン」の外側も

配食サービス

地域の皆さんに、心のこもったお弁当をお届けしています。



彩りもきれいなお弁当は好評

高齢者ケア、地域づくりも

私が関わっているNPO法人「あいあいねっと」は、広島市安佐北区可部に拠点を設けています。食品メーカーさんや、生協ひろしまさんをはじめとした小売店などから、廃棄される運命だった食品を提供していただき、路上生活者支援団体や障がい者支援団体、母子支援センターなどへ食品を届けることからスタートしました。炊き出しをする団体なら調味料や乾物、子どもが多い団体ならお菓子、調理が難しければインスタント食品など、お渡しする先のニーズに合わせてお渡ししています。

可部地区は広島市内でも高齢化が進んでおり、経済的理由で食事が十分にできていない方も目立ちました。低栄養は寝たきりにつながるなど、医療や介護の面への影響も大きいです。高齢者をサポートするには、食品の提供にとどまらず、地域のつながりや活気の創出も必要だと考えて始めたのが「まめnanレストラン」。高齢の方だけでなく、子ども連れの方など幅広い世代が集まり、コミュニケーションが広がっています。メニューが決まるのは当日の朝。ペテラ

ン主婦ぞろいのスタッフが、企業や近隣の農家から提供していただいた食材を見て「ある材料だけで何ができるか」頭をひねっています。

2012年からは配食事業も始めました。身体的・経済的理由で食事づくりが困難な高齢者や障がい者の方などに、もったいない食べ物を使って、心を込めたお弁当をお届けしています。高血圧や糖尿病、腎臓病の方向けの料理も作っています。

一人でも多くの理解者を

さらに、力を入れているのが「食育」「環境教育」です。食べ物を大切にすることを伝え、食品ロスをなくせば環境にもやさしいことを広めたいと思います。大学生に協力してもらって子どもに紙芝居を見せたり、大学祭で捨てられる食材を集めたお好み焼き「もったいない焼き」を販売したり、一般向けに講座を開講するなどしています。フードバンクの取り組みだけでは、膨大な食品ロスをゼロにすることはできません。多くのの人に食品ロス削減を訴え、一人でも多くの人と共に取り組んで社会を変えられることも「フードバンク」の意義のよう

教育・広報活動

食品ロス削減に向けた講座や、環境学習会、子ども向けの「食育」などを開催しています。



食品ロス削減を参加者に体験してもらう



広島市の出前講座で環境学習会



寄贈された食品を使った料理の試食会



大学生ボランティアも頑張ってくれています

NPO法人あいあいねっと

あなたもできることから、活動に参加してみませんか。ボランティアさん大募集中です。まずは毎週火曜・金曜11:00~14:00「まめnanレストラン」をのぞいてみてください。

広島市安佐北区可部3丁目9-22

TEL082-819-3023 <http://www.aiainet.org>